

米地区で見つけた7月のトンボ (25種)

アオイトトンボ・メス (アオイトトンボ科)



オスは成熟すると腹の先と胸が白くなる。
湿地の周りの低木に止まっていたりすることが多い。



アジアイトトンボ (イトトンボ科)



あまりみかけないアジアイトトンボ
オスの緑色の胸部と腹端の青色。

エゾイトトンボ・メス (イトトンボ科)



写りの悪いこの写真しかないのですが、
腹端の模様からエゾイトトンボと考えました。

オオイトトンボ (イトトンボ科)



セスジイトトンボを見かけないので、腹端
の青い部分に黒い模様があるのはオオイト
トンボと考えられる。ここがオゼイトトン
ボとの見分けのポイント。

米地区で見つけた7月のトンボ (25種)

オゼイトンボ・オス (イトトンボ科)



湿地の水生植物の周りを、よたよたと巡回し、時々植物に止まっている。

クロイトトンボ・オス (イトトンボ科)



腹部が黒く、先端が青い。胸部は少し粉を吹いて白くなっている。

いるはずなのになかなか見つけられなかったのは、少し警戒心が強いからであるように思われる。

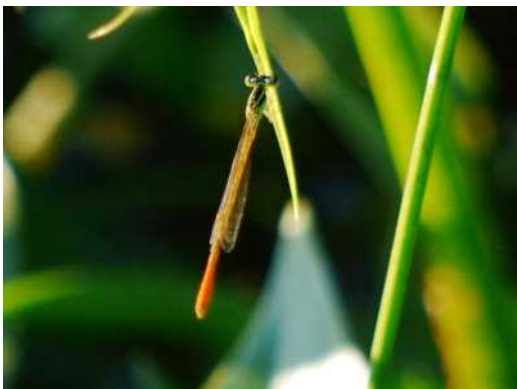
キイトトンボ・メス (イトトンボ科)



ほかのイトトンボより大型で腹部が太い。



モートンイトトンボ・オス (イトトンボ科)



メスは複眼に沿って模様 (眼後紋) が入る



米地区で見つけた7月のトンボ (25種)

モノサシトンボ (モノサシトンボ科)



水路脇のヤブをふらふらと飛んでいる。脚が特徴的なので見分けるのは容易



ニホンカワトンボ・オス (カワトンボ科)



湿原に向かう林の中で葉っぱの上に止まっている姿をよく見かける。

ハグロトンボ (カワトンボ科)



米地区から降りた、鮭川の流がよどむところに多数群れている。6月にはアオハダトンボがいた淀みはすっかりハグロトンボに占拠されている。

左がオス、右がメス

ダビドサナエ (サナエトンボ科)



山の上の畑に向かう農道の石の上で、じっとしている。寄っていくと、少し離れたところに移る。

胸部や腹部の模様からダビドサナエと思われる。

オオヤマトンボ (ヤマトンボ科)



堤を高速で巡回してくるトンボを最初はオニヤンマだろうと思っていたが、ぼけた写真をよく見ると腹部の形状が異なるので、何度か撮影にトライしてみた結果がこれ。胸部の緑の模様と膨らんだ腹端からオオヤマトンボと思われる。

ギンヤンマ (ヤンマ科)



堤や池の周りを巡回している。飛んでいる姿からは最初はクロスジギンヤンマと区別がつけられないのだが、目が慣れてくると腹部の色で区別ができるようになる。しかしルリボシヤンマやマダラヤンマが現れたら見分けられるか定かではない。

クロスジギンヤンマ (ヤンマ科)



ギンヤンマと同じように、池や堤の周りを巡回している。水面に近い高さで飛んでいることが多い。腹部の青い模様が特徴。

オニヤンマ (オニヤンマ科)



堤や池の上空を巡回。一方で、湿原に向かう小さな流れや作業道の上を低空で巡回していたりする。しばらく飛んでいたかと思うと、枝などにぶら下がるように止まる。

アキアカネ (トンボ科)



7月になって現れた赤とんぼの一種、アキアカネ。胸部の黒条でナツアカネと見分けるといふ。黒条が四角く切れていない。

ナツアカネ (トンボ科)



アングルが少し異なるが、こちらがナツアカネと思われる。黒条が四角く切れる。



マユタテアカネ (トンボ科)



こちらは眉条斑と呼ばれる、鼻のような模様で区別される。腹が黒くて鼻マークの



あるとトンボが現れたら絶滅危惧種のマダラナニワトンボかもしれない。

ノシメトンボ (トンボ科)



こちらも赤とんぼの仲間。あまり赤くはならない。翅の先端が黒褐色で腹が細い。同じように翅の先端が黒褐色の赤トンボにはリスアカネやコノシメトンボがいる。

オオシオカラトンボ・オス (トンボ科)



この時期、水田の周りから、湿地まであちこちで見かける。翅の付け根の黒い斑とい翅の先端の黒い縁紋と褐色斑。探し方が悪いのかメスを見つけられず。

ハラビロトンボ (トンボ科)



6月より数を減らしたハラビロトンボ。左の写真では、もう翅がぼろぼろ。オスは白い粉をふいている。下はメス



ショウジョウトンボ (トンボ科)



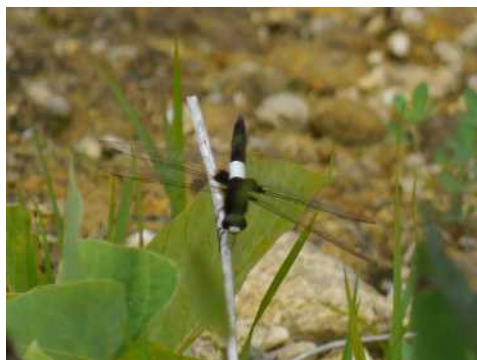
7月になって現れたショウジョウトンボ。オスは全身が赤い。池の植物に止まって、周囲を巡回している。メスは見かけていない。

米地区で見つけた7月のトンボ (25種)

コシアキトンボ・オス (トンボ科)



池や堤の上空をせわしなく飛び回るばかりで、ほとんぼ止まっている姿を見かけない。腹部の白い模様に加え、翅の付け根が



黒く、先端にも黒色斑がある。今回はメスを見つけられず。

ヨツボシトンボ (トンボ科)



7月に入り、ほとんど見かけなくなった。

5月、6月、7月で30種類のトンボを確認。

ムカシヤンマ (5月、6月)

コサナエ (5月、6月)

コオニヤンマ (6月)

シオヤトンボ (5月、6月)

アオハダトンボ (6月)

5月 7日～13日、26日～31日

6月 1日～2日、18日～23日

7月 10日～19日